

教科目名 保健・体育 (Health & Physical Education)

学科名・学年 : 全学科 4年

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間 42時間)

担当教官 : 川内谷一志, 首藤英俊

授業の概要 ・ スポーツテスト(運動能力テスト・体力診断テスト)を実施して, 個人の体力を把握させる。 ・ 実技指導では, 必修選択性を導入して, 積極的, 意欲的な参加と活発な活動を目指す。スポーツの実践を通じて, 責任感を持ち, 協調性のある行動がとれるように, 努力する。スポーツマンシップについても十分な理解を促す。		
到達目標 大分高専目標 (A1)(B1), JABEE 目標(a)(c) 体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し, ゲームを楽しむことができるようにする。さらに, 基礎体力の維持・向上を目標とする。		
回	授 業 項 目	内 容
1,2	1. 陸上競技	3年次に学習した走高跳を男女ともに復習する。個々の記録測定を行う。
3,4	2. スポーツテスト	{運動能力テスト(4種目), 体力診断テスト(4種目)}を正確に測定する。
5-8	3. バレーボール	男女混合チームもあり, 3年次よりさらに各個人技能を生かしたゲームの展開と審判法の習得。
9-12	4-1. ソフトボール(軟式野球)(男子) 4-2. ソフト(硬式)テニス(女子)	試合に重点を置いて指導する。交代で個人別試合結果表を記入させる。 ダブルスのゲームを学習する。
13,14	5. 水泳	クロール, 平泳ぎ, 横泳ぎ, 背泳の習得。
15-18	6-1. 軟式野球(男子) 6-2. 硬式テニス(女子)	個人技能をさらに向上させ, 試合が楽しくできるようにする。試合結果を記録する。 個人技能の習得。ゲームによるルール・審判法の習得。
19-22	7-1. サッカー(男子) 7-2. 硬式テニス(女子)	個人技能の習得, ゲームによるルール・審判法の習得。 個人の技能をさらに向上させ, ダブルスのゲームを学習する。
23-25	8. バスケットボール	個人技能の習得。ゲームによるルール・審判法の習得。
26-28	9. バドミントン・卓球	男女共通の種目として, 個人技能の習得。ダブルスのゲームを学習する。
履修上の注意	授業は時間厳守とする。	
教科書	なし	
参考図書	・ 豊田博, 丸山吉五郎ほか, 「最新スポーツルール」, 大修館。	
関連科目	なし	
評価方法	最終成績 = 授業で行った各種目の実技点の平均 * 学年評価は, 前期評価と後期評価を平均して評価する。 * 授業態度により, 評価点からその20%を上限として減点を行う。	